

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年1月30日（火）

2 確認箇所

1/2号機排気筒ドレンサンプルピット

3 確認項目

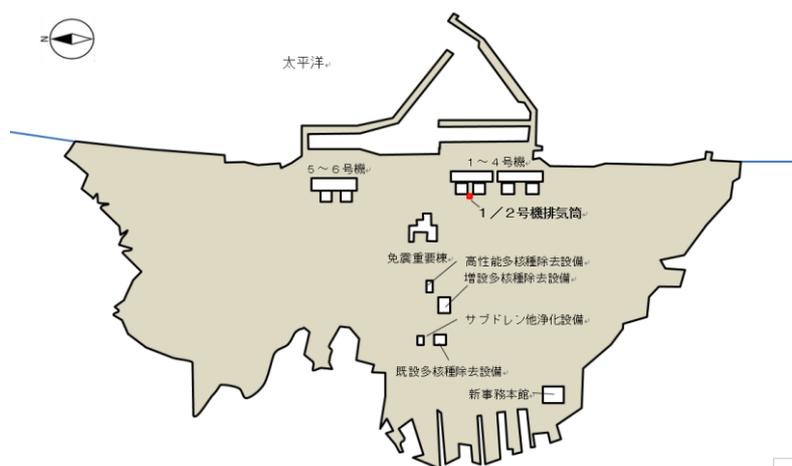
1/2号機排気筒ドレンサンプルピットの対応状況

4 確認結果の概要

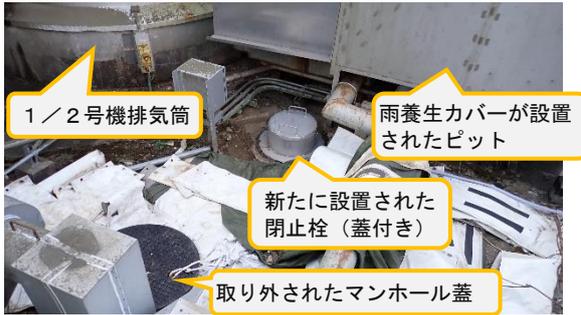
東京電力では、高濃度汚染水が確認されている1/2号機排気筒ドレンサンプルピット※（以下「ピット」という。）について、排水設備を設置することで系外漏えいを防止するとともに、ピットへの流入抑制対策（雨養生カバーの設置、排気筒上部解体後の排気筒への蓋の設置）を講じてきたが、降雨時に雨水がピットへ流入する事象が確認されていた。その後の調査におけるピット南東部マンホール部から雨水が流入している可能性を受け、マンホール部への止水対策が実施されていることから、現場の状況について確認を行った。（図1）

- ・マンホール部については蓋が取り外され、代わりに閉止栓（蓋付き）が設置されていた。（写真1）
- ・閉止栓及びマンホール部の隙間には発泡ウレタン等のコーキング材が充填されており、雨水の流入を防止する対策が実施されていた。（写真2）

※排気筒ドレンサンプルピット：排気筒内に入り込んだ雨水や排気筒内で発生した結露水を貯めるための集水枿であり、大きさは約1m×約1m×深さ約1mとなっている。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
マンホール部の状況①



(写真2)
マンホール部の状況②

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。